

＜事前質問票＞

1	<p>この5年間の自殺者を原因別で見ると、健康問題が52%と最も多く、家庭問題15%、生活問題14%、2014から2018年の5年間の自殺者数は144人となっています。</p> <p>年代別では、40～59歳が最多の54人（38%）、60歳以上が53人（37%）、20～39歳が29人（20%）となっています。時折りしも、昨年3月末時点で、宇治市の要支援・要介護者が1万人となり、事業計画を500人上回っています。</p> <p>したがって、①新規の認定者を減らす努力、②少しでも要介護度の進行を遅らせる対応が必要となります。</p> <p>そのための案のひとつとして、地域での“サロン活動”（宇治市でも計画されていますが。）を、今までと異なり、現在ある組織（学区福祉委員会、喜老会、女性の会、その他の団体）等を活用し、宇治市全体の社会問題である自殺対策推進本部との連携を考えてもよいのではないかと思います。</p> <p>このことは自殺対策のみならず、地域内の各種イベントを重ねることにより、住民同士のふれあいが生まれ、地域の絆につながっていくと思われるので、市民の方と“全ての力を借り”、周知し、納得してもらってやるべきだと思います。</p>
---	---